

生徒から発信！しあわせシャボン玉！

—言葉のかかわりを重視した授業の学びから—

長期休業中は家族とかかわる時間がふだんより多くなり、ささいなトラブルも発生しやすい。そこで家族関係をよりよいものにするためのかかわりの力として、コミュニケーションスキルを身につける授業を行った。生徒の発する言動が、家族関係をよりよくすることに役立つことを実感して欲しいと考える。

1. はじめに

家庭生活に必要なかかわりの中から生まれる感謝などの言葉を、生徒にしあわせシャボン玉と伝えている。家庭の中のどんなささやかな活動でも、それを実践することで家族間に感謝の気持ちや、しあわせな気持ちが生じる。それをしあわせシャボン玉と表した。授業で学んだことを家庭で実践し、家族に感謝やしあわせな気持ちをもたらす、それが多ければそれだけしあわせシャボン玉で満たされ、温かい雰囲気の家になる。しかし、残念ながらシャボン玉のようにそのしあわせ時間は短い。多くもたらすためには、言葉のかかわりが大きいと考えた。そこで、コミュニケーションスキルとしての言葉の使い方を授業に組み入れ実践した。生徒から家庭に発信し、家族関係をよりよいものにするためのかかわりの力を身につけさせたいと考えた。

2. 指導計画

「A 家族・家庭と子どもの成長」題材の指導計画

■題材「自分の成長と家族」1時間扱い 1年（省略）

■題材「家庭と家族関係」5時間扱い 2年

小題材	時間	指導内容
1. 家庭や家族の機能について知ろう	1	<input type="checkbox"/> 家庭や家族の基本的な機能を理解させる。 <input type="checkbox"/> 家庭や家族の重要性を理解させる。

2. 家庭生活と地域のかかわりを知ろう	1	<input type="checkbox"/> 地域の活動や行事を調べさせる。 <input type="checkbox"/> 高齢者などの地域の人々のかかわりについて話し合わせる。 <input type="checkbox"/> 家庭生活と地域のかかわりについて理解させる。
3. 家族とのかかわりをよりよくしよう	1	<input type="checkbox"/> 家族の役割や立場を理解させる。 <input type="checkbox"/> 家族とのかかわりや自分の生活に関心をもたせる。
	1	<input type="checkbox"/> 家族関係をよりよくする方法を理解させ、実践できるようにさせる（コミュニケーションスキル）。 <input type="checkbox"/> 課題をもって家族関係の生活について工夫し、計画を立てて実践させる（長期休業中に実施させる）。（サンキュウカード）
	1	<input type="checkbox"/> 実践した内容を発表させることで振り返らせ、新たな課題を確認し、実践を深めさせる。

■題材「幼児の生活と家族」17時間扱い 3年（省略）

3. 具体的実践例

（1）コミュニケーションスキルを身につける授業例

① 授業の概要

家庭の中で日常的に交わされる言葉をどのように自分が捉えるかにより、その後の感情・行動が変わるということを学習する。肯定的な捉え方をすることにより、感情をコントロールすることができることを知らせる。

② ワークシートの例

コミュニケーションスキルを学ぶための手順に沿って、ワークシートを作成。

(ア) 感情の流れについて説明

事実は1つ → 捉え方 → 感情 → 行動

(イ) 肯定的・否定的な捉え方の後の感情の例

(ウ) 日常的な事例で練習

<状況カード>

- 1 遊んでいないで、勉強しなさい!
- 2 部屋が散らかっているよ。片付けなさい!
- 3 ゲーム(テレビ)ばかりしていないで(見ていないで),
手伝いなさい!
- 4 遅くまで起きていないで、さっさと寝なさい!
- 5 早くお風呂に入りなさい!
- 6 早くご飯を食べなさい!

(エ) 振り返り(感想) → 実践へ(長期休業中のサンキユウカードの活用など)

③指導過程

段階	生徒の活動	□指導上の留意点 ※資料・準備物など
課題把握 (7分)	(1)前時の学習内容を確認・いやなことば・うれしいことばを発表する。 家族とのコミュニケーションスキルを学ぼう!	□雰囲気づくり。 □多くの生徒に発表させる。 *学習カードを配付
課題追求 (10分)	(2)感情の捉え方について理解する。 (3)コミュニケーションスキルについて理解する。 気づく	□学習カード1を考えさせ、カードに記入させる。 □事実は1つ 肯定的か否定的か→考え方 →感情→行動→感情
課題解決 (25分)	(4)学習カード2の例を考え発表する。 (5)状況カードから1つ選び、考え、その後、班で考える。班ごとに発表する。	□静かに考えさせる。 □すべてを受け入れる。 □家庭でよくある状況で考える。 □コミュニケーションスキルについての考え方を確認し、自分の考えと比べる。
まとめ (8分)	(6)コミュニケーションスキルについて確認を築く ・本時のまとめ	□自分の意志でかかわりを良くすることができることを理解させる。

(2) 課題と実践の一例 「サンキユウカード」

【長期の休みを利用し家族の一員として生活しよう】

① サンキユウカード

お手伝いカードのようなものであるが、その中に家族からかけてもらった言葉を確認し、自分がどのように感じたかを記入させた。毎日の小さな活動や言葉がけが家庭の中に温かい空気を生み出すことに気づいて欲しいと考えた。また、少子化で家のことはほとんど手伝ったことがない生徒も多い中、意図的に実践する場を設定することで、家族間のかかわりを実感させたかった。

② 実践の時期

コミュニケーションスキルの授業は、長期休業前に設定した。長期休業中は家族とかかわる時間が長くなり、トラブルが発生しやすいのでコミュニケーションスキルを生かし、自己解決方法を身につけさせ、サンキユウカードを長期休業中に課題とし、生徒の発する言動が家族関係をよりよくすることに役立つことを実感し自尊意識を高めて欲しいと考えた。

③ 実践例 冬休みのサンキユウカード

28	月	おたふたふ 大の散髪 おたふたふ	食器の準備・片付け カーテンしめ 食器の準備・片付け	めんどくさい
29	火	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ	「おつかれさま」
30	水	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ	疲れた。
31	木	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ	「ありがとね」
1	金	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ	「おつかれさま」
2	土	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ 風呂洗い	めんどくさいから 家族はずい
3	日	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ	「ありがとね」
4	月	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ	めんどくさい
5	火	おたふたふ 大の散髪 カーテンしめ	食器の準備・片付け カーテンしめ 風呂洗い	疲れた。

4. おわりに

人間関係のトラブルが続くと、せっかく身につけた技術や知識も生かそうと思えなくなる。言葉のかかわり方で人間関係は大きく変化することを理解させ、家庭での衣食住に関する仕事をするすることで、感謝などのしあわせシャボン玉が生まれるということに気づかせたかった。サンキユウカードの中に、家族の声がけで、うれしい気持ちが増えたという感想があり、まさしくこれがねらいであった。

参考文献・参考Webページなど

・ライオンズクエストの思春期のライフスキル教育